



414
A 301

目次

一 清國初テ大使ヲ英國ニ派遣セシ事

一 魯國政府ノ近況

一 日本國土寇ノ說并ニ魔島暴動ノ評

一 西班牙人臺灣ヲ征セントスル企謀

大正十一年四月
侯爵郵寄贈月

4221



是ラズト雖モ、尽ク皆是類ノ使臣ニシテ、其持命モ亦、
斯クノ如キヲ免カレサリキ而シテ、時勢ノ変遷ニ由リ、
中國ヲシテ、歐洲列國ニ交誼ヲ行ハシムルニ至ルモ、
ノ注々ニシテ之アリト雖、皆宰臣ノ命書ヲ持シ、所謂
北京總理衙門及ニ外務官ノ代理人タレニ過キマ蓋シ
皇帝陛下ノ真正ナル特命全權ノ使臣ニ非ラサルナリ
今之ヲ畧言スレハ、到底使臣上ニ於ルヤ、我英國ハ今日
ニ至ル迄、恰カモ高麗ア、シナムノ如ク、貧弱ナル露屬地
ト同視セラレタルヲ免レサリシカ、今ヤ我軍ヲ目スル
稍敬礼ノ辱ヲ認ムルカ、如ク宇内人類ノ過半ヲ管理セ
ル東西ノ二大帝國公平ノ款ヲ容レ、交誼上對等ノ接待
ヲ為スニ至レルハ、所謂今日ニ始マルモノニシテ、各國
ノ史乘ニ徵スルモ、未曾テ聞カサル所ナリ

今回兩大使ノ未到スルハ、雲南暴動ヲ陳謝ス可
キ不快ナル使命ヲ仕セラレタル疑ナシト雖モ、就
中清國ト貿易ノ特權ヲ擴充ス可キ芝罘一埠ノ假條約
ヲ結了センカ、為メナルヲ以テ、我軍ハ其任ノ無益ナル
困難ニ屬セサル可キヲ信スルナリ、蓋シ清國ノ大使英
國ニ到着セルノ結果ハ、果シテ何等ノ裨益ヲ生ゼサル
ヤ、吾預メ言難シト雖、此舉タル為メニ二千年間清國ト
各國トノ交誼ヲ絶セル、歐洲人ヲ嫌惡蔑視スルノ堅寨
ヲ破却スルニ至ル可キハ、我軍ノ奉ツテ企望スル所ナ
リ、今ヤ此帝國トノ貿易ハ、日ニ旺盛ヲ極メ、一歲殆ト四
千、ルリリヲシテ、ルリンノ價位ニ至ルノ時ニ方リ
テハ、斯クノ如キ事奉アルヲ見テ之レヲ黙々ニ付スル
ヲ得サル也

一月二十三日モ一ニクアドウハルタ
云使臣、演述ス可キ余款ハ北不ニ於テ已ニ公然定
口レレタリ改ニエコーサン
リ唯ニ交誼ノ礼ヲ表スル而已ニ過キサル如レト今該
余令書ノ條件ハ数言ニシテ述フルヲ得可レ第二ニ大
使ハ今ヲ距ル二個年前マルガリ一氏暴殺ノ件ニ付北
京政府ノ陳謝書ヲ携帶セリ蓋レ和平條約ノ一款トシ
テ英公使ノ特ニ締約セル 款款タルヤ清國ニ公布
ニ後ニ其裨益ヲ増ス可キ疑ナシト雖モ到底清國ニ於
テ英國ノ利益ヲ進メ或ハ内地ヲ旅行セル我國人ノ安
全ヲ増スニ於テ敢テ意外ノ利アル一勿ル可レ下文新
條約ニ関レ掲載ス可キ二三ノ條件 キニ非ラスト魚
之業已ニ論説ヲ尽セルヲ以テ敢テ再説セバ蓋レ其條

件中最モ属目ス可キノ要件ハ何片ノ輸入税ヲ増加レ
且ツ之レヲ販買スルノ規程ヲ定ムノ一事ナリキ

魯國形況

一月二十四日タイハス新聞ニ云魯國新募兵ノ形状ニ
付寒心ス可キ世上ノ流言果シテ信スルニ是レ可キ
且ツ斯クノ如キ浮説ヲ起セルハ何等ノ理由ニ根
テ今我輩ハ之レヲ明知スル一ナシ蓋レ魯帝及ニ參政
官ハ恰モ一重事件ヲ決スルカ如キ痛心焦思ノ状アリ
トノ説ハ就中信スルニ堪ヘタルカ如シ今若シ歐洲ヲ
シテ數國ニ波及シ結局東洋外ノ紛論ヲ發起ス可キ戰
闘ヲ免カラレメントモハ魯國政府ヲシテ戰闘ハ該帝
國ニ何等ノ実益ヲ生スルナキヲ料知セシムルヨ
事アル勿ラントス然リ而シテ魯帝ノ願行シテ

太政官

歐洲ノ和平ヲ破ルニ方リテハ歐洲各民
魯國ヲ敵視セサルナリ其結果タル亦タ驚異ス可
曉知セシムル蓋シ難キニ非ラサル可シ今ヤ歐洲各国
ノ人民ハ魯國ヲ以テ蠶食專制ノ國ナリト認ムルノ念
ヲ腦裡ニ感觸スル一朝ニ非ラサルナリ
一月二十四日モリニシクホスト新聞ニ云今モスコウ
及ニセント、パトリスボルクノ改談家一時土國ノ紛議
ヲ傍觀スルヲ以テ策ノ得タルモノト考察スルアリハ
斯クノ如キ決意ヲ生セシムル敢テ殊別ノ事故アルニ
非ラスト臆測スルモ亦タ理ヲキニ非ラサル可シ蓋シ
澳地利ノ猜疑ト故意トヲ恐怕スルニ出ルヨリ他ナキ
ヲ以テナリ顧フニ魯國ハ一時無心ノ状ヲ表セント預
防スルニ佛蘭西日耳曼ノ新聞記者魯國ニ對スル日耳

曼ノ真意ニ付筆戰ヲ尽セルモノ亦タ擬ル處ナキニ非
ラサル可シ而シテ佛國ノ報道ニ由ル歎或ハ何等ノ理
由アルヤ知ル可カラスト雖モセント、パトリスボルク
ニ於ルヤプリンス、ボスマーノノ舉動ヲ認メ大ニ猜疑
ヲ増シタルカ如シ夫レ然リ果シテ猜疑ス可キノ証據
アリトモハ魯國ハ預防ヲ以テ策ノ得タルモノト考察
スル亦タ知ルヲ得ベキナリ

一月二十四日シタレタート新聞云魯國政府ハ一時改
測協和ノ議ヲ維持センコトヲ勉メタル疑ナキカ如シト
魯政府ハ目今戦端ヲ開クルヲ欲スルニ非ラズ而シテ
魯國ノ他歐洲各国皆コンニタンチノブルニ於テ敗績
セリトノ信用ヲ以テ其臣下ヲ告ハシメンコトヲ焦慮ス
ルヨリ他ナシ故ニ他ノ各国拳テ魯國トシテセラルニ

至ラスンハ魯國ノ傍觀スルヲ為カ、九、一、ハ固ク曰
シテ疑ハケル処ナリ右夫レ魯國政府ハ和平ヲ保テス
ルノ目的ヲ以テ此説ヲ主張セハ我輩其卓越ナルヲ感
歎スベキ而已然レ其如何ニモ魯國ノ斯ク温和ヲ主
トスルハ日身曼澳地利兩國ノ拳動如何ヲ窺知スルニ
過キサルノミト言ハサルヲ得ズ

別四十三号

英華新聞抄譯倫敦二月十六日刊行

日本國土寇ノ説

前便日本ヨリ送致ノ新聞紙中ニ載セタル逆徒蜂起ノ
件ハ頗フル驚愕ニ堪タル事宜ナレ其然シ其実ハ横濱
新聞ニ掲クル所或ハ諷刺ノ我ガ通信者ヨリ報道スル
所ノ如キ大事ニハ非カルベシト余輩ハ固ク信據スル
ナリ
今夫レ我々昔外人ノ臆想ヲ以テスレハ逆時農民ノ
蜂起ハ此ニ新メニ榮リタル一黨ノ土寇ノ如ク而シテ
曩キノ日暫時ニ鎮定シタル内國貴族ノ叛逆ニ黨與セ
シハ非カルカ如シト雖モ然レ其熱其實事ヲ考究ス
ル時ハ逆時ノ土寇ハ尚ホ前ノ叛逆ノ餘波ナルト然
ニシテ之ヲ別種ノ者ト見做スハ却テ誤シ甚キモノ

ト云ハザルヲ得サルナリ宛モアレ今ニホノ官途
モ亦其他ノ探偵者ヨリモ此土寇ニ付テ一ノ電報ニ未
カバルハ果シテ事ノ重大ニ至ラザリシヲ了知スルノ
一理アリトス

茲ニ又本月十四日巴里ニ達シタル一電報ノ鹿兒島暴
動ノ事ヲ傳フルアレ是レ然シ格別ノ大事件トハ思
ハレサルナリ其故ニ在横濱ノ英華電報新聞ノ通信者
ヨリ報知ニ曰ク「政府ハ嚮キニ夫ノ有勢ナル貴族
ニ平和ヲ示シナガラ陰力ニ刺激扇動シタル慄悍兇勇
ナル士族ノ暴挙ヲモ容易ニ鎮壓セラレシ勢ニテハ
今不整不鍛練ナル農民等ノ少シク不穩ノ事アリトモ
之ヲ鎮定スル極メテ容易ナルベキ、明カナリト且ホ
後此事ニ付何等ノ報道ナキヲ以テ見レハ此報ハ果シ

テ疑フ可ラザル如ク而シテ日本政府モ是等ノ騷擾ヲ
須臾ニ鎮壓スベキ方畧ヲ察見セラレシモノト見ヘタ
リ勿論暴挙ヲ為スノ託言ハ必ス租税ノ事ニ在ルベシ
ト雖モ今此殺乱ハ実ハ其事ノミナラス現今ノ政体ニ
不満ヲ抱ケル日本後來ノ貴族及ニ旧制ヲ慕フ者等ノ
陰力ニ哄唆セシモノニシテ頗フル狂暴ニシテ新治ニ
對シ不平ヲ抱キ何ヲカナ端緒ヲ見出シ強キテ敵對セ
ント欲スル者共ナルハ必ス相違アラサルナリ
日本ハ勿論支那及ニ其他ノ各國ニ於テモ人民ノ政府
ニ抵抗スル緣由ハ大方重税ノ苦状ニ出ルモノニシテ
現今ノ暴動モ亦自然此ニ外ナラサル事ナレハ熟此騷
亂ノ本源ヲ思フ時ハ恰モ後來ノ貴族ノ叛逆ナルハ史
ニ疑フ容ル可ラザル如シ斯ノ國內ニ殺乱ハ實ニ

憂フベキノ限リナレハ亦退テ考フレハ現今ノ土冠ハ
後チ常ニ一記シテ後來一國ノ政畧ヲ施スノ警心ト
モ為サハ却テ少シク益ヲ見ストモアルナランカ今夫
レ及相ノ觀ニ於ケルガ如ク國人多ク至政府ノ重税ニ
不平ヲ犯ケル事ヲシテ實ナラシメバ今ノ如キ紛乱ハ
永世絶エルノ時期アルニシク實ニ恐ルベキ事ナラズ
ヤ然レ今ヤ貴族ノ革後令ニ如何程強勢ナルニモセヨ
政府又之レニ應スベキ地位ヲ固守セララル、一明
レハ嚮キノ如キ不平ノ哀情ハ先陰ノ過キ去ルト共ニ
全ク消滅スルニ至ラン、一勿論ナルベク就テ日本國中
永ク騷乱ヲ見ンヲ欲スルモ得ベカラザルベキハ必然
ナリ去レハ是レ素ト慶賀スベキ事ナガラ余輩ハ尚ホ
此ニ政府ガ其大權ヲ益適宜ニ固守セラレシメテ切ニ

勸告セントス夫ノ不平貴族ノ輩今後尚ホ諸ノ謀畧ヲ
逞フシテ以テ民心ヲ動サントスル、疑ヒナカルベク
而シテ之ヲ未~~前~~然ニ制御スルハ則テ政府ノ著レキ政畧
ニ在ルヲナリ

シヤパンガベツト抄譯三月廿日刊行

福州ヘラルド抜萃

西班牙人ノ臺灣ヲ証スルノ説償正確ナルトキハテ
 シ撫臺ガ該島ヲ教化セント欲スル企ハ輕忽ニ妨害ヲ
 蒙ルベシト之ヲ歎惜セサルモノナシ蓋シ支那地方官
 ハ西班牙人ト或ル葛藤ヲ生セシテアルハ疑ハス然レ
 トモ其事ノ大小輕重ニ至リテハ余輩猶未タ詳報ヲ濟
 ス數年未支那ト西班牙トノ交際ハ常ニ親睦ナラス而
 テ其正理ヲ嘗テ支那ニアリシハ豈奇ナラスヤキエハ
 島ニ於テ支那役夫ヲ過スルノ酷薄ナルハ言古ノ職ノ
 名状スル所ニアラス若シニクビルソシ及ヒヒトベシ
 氏ノ派遣凶テ知ルヲ得タリシ殘念ノ十分一モ集突
 ナルトキハ支那ハ同戰ノ明因ヲ有キバ政府ノ難

詰スルノ實證ハ餘リ有リト云フニ然レニ西班牙ハ
数年前臺ノ海洋ニ於テ失フタル一船舶ノ故ヲ以テ
報償ヲ得ント願ル無稽ノ請求ヲ搜出シタリト云フ余
輩ハ其請求ノ性質ニ至リテハ委シク報道ヲ得サレハ
或ハ公明正大ノモノナルモ計リ難シ然リト雖モ若シ
北京政府ガキエバ島ニ在ル其臣民ニ少シク情過ヲ加
フルノ請求ト互格ノ意ヲ以テ諒件ヲ思察スルトキハ
西班牙政府ノタメ甚々不利ナラサルヲ得ス假リニ諸
外國ハ征臺ノ舉ヲ許認スベシトスルモ其土地ノ畧有
ニ至リテハ必ス協同セサルハ明カナリ勿論支那ノ政
法ハ完良ナラスト雖モ西班牙外領ノ如キハ特ニ甚々
シト云フ可シ方今殖民地ヲ有スル諸國ノ内其残忍貪
戾擅恣ニ於テハ外見内実ヲ問ハス西班牙ニ及フモノ

ナレキエバフリツピン島ノ如キハ酷薄ノ明證ニシテ
初メハ劍ニ仗テ耶蘇教ヲ奉セシメ終リハ勞役ニ強徒
セシムルノ方法ナリ亦タ墨是哥南亞米利加ニ於ル暴
戾ノ如キハ古今其例ヲ聞カス故ニ支那海ニ於テ西人
戰場ヲ開クコトアレハ一般外人ノタメ利ナラサルハ明
瞭ナリ若シクハ宇内ノ人民ガ多少望ヲ屬スル灣島ノ
財源開發ノ助ケトナラサル可シ若シ衝突ヲ来タスト
キハ支那ハ獨リ西人ノ軍備整齊ノ故ヲ以テ敗ヲ取ル
ベシ今打狗ニ備ヘタルニ一モイ艦隊ハ余輩ノ常ニ論
スル如ク「ブールストレート」大砲三十門以上軍艦ノ海軍ト
競抗スルニハ大ニ不足ナリ是則日本人征臺ノ時ニ觀
ル所ナリ「陸軍」七為ス「アル」ニ足ラス而テ支那帝
國ノ常ニ拒守ノ意ナキハ其國政ノ失誤ヲ寬解スルノ

術トシテ往々誹謗ヲ蒙リタリト雖
正ノ名義ヲ有スルナリ蓋シ海賊ニ類スル西班牙
ノ舉ハ公衆ノ損斥スル所ナルハ余輩更ニ疑ハス支那
人ハ今之ヲ退ケルノ術ヲ施セリ